

# コモンズを再生する東京

# 「紐状の都市エレメント」から「商店街」から「構想するコモンズを再生する東京」

「オンラインシンポジウム」事前登録制 参加費無料

法政大学「江戸東京研究センター」EToSの「都市東京の近未来」研究プロジェクト、法政大学大学院都市デザインスタジオでは、プレ近代としての江戸、

そして明治維新後の東京という都市を連続的に研究することで、近代を相対化した都市研究を行っている。日本という国は先験的に未来に向かう新しい外力が頭在している。反転する人口動態の社会問題、それは世界でも最も洗練された都市型の産業社会が経験しているものである。

今、20世紀の世界を支配した資本主義がつくる都市状況とは異なる新しい都市のありようが見えてきている。この新しい外力に対応する都市論はまたその端緒についたばかりであるがここでその議論を重ねたい。

【講演 | 登壇順】

- 北山恒
- 陣内秀信
- 大野秀敏
- 織山和久
- 渡辺真理

【実践紹介 | 登壇順】

- 仲俊治
- 栗生はるか
- 山道拓人

法政大学都市デザインスタジオ

事前登録で先着300名様は

【論考編】と【実践編】の2冊組リーフレット付!

今回はオンラインでのシンポジウムですが、事前に請求いただければリーフレットを送付致します。全体の論理展開を計32pのリーフレットで俯瞰しながら参加できるように企画しました。是非、シンポジウムのご登録、そしてリーフレット(先着300名様)の請求をしてください。

リーフレット請求締切日 | 2021年2月28日[日]

# ONLINE SYMPOSIUM 2021.3.13

13:30-18:00



主催 | 法政大学江戸東京研究センター EToS  
 協力 | 法政大学デザイン工学部建築学科